

【国語】

本校の概要

課題

改善の方向

国語

【内容】

- 〔思考力、判断力、表現力等〕の
「話すこと・聞くこと」は全国平均と
ほぼ同程度であるが、やや下回っ
ている。
「書くこと」は全国平均とほぼ同程
度であるが、やや上回っている。
「読むこと」は全国平均を下回って
いる。
- 〔知識及び技能〕の
「言葉の特徴や使い方に関する事
項」、「情報の扱い方に関する事
項」、「我が国の言語文化に関する
事項」は全国平均を下回っている。
- ・「話すこと聞くこと」では目的や意図
に応じて、日常生活の中から話題を
決め、集めた材料を分類したり関係
付けたりして、伝え合う内容を検討す
ることの正答率が低くなっている。
- ・「情報の扱い方に関する事項」で
は、情報と情報との関係付けの仕方、
図などによる語句と語句との関係の
表し方を理解し使うことの正答率が
低くなっている。
- ・「言葉の特徴や使い方に関する事
項」では、学年別漢字配当表に示さ
れている漢字を文の中で正しく使うこ
との正答率が低くなっている。

●目的や相手に応じ
て文章全体の構成
を考えること。

●情報と情報の関係、
語句と語句に関係
を理解すること

●漢字など、言語に関
係する知識を深め
適切に書いたり活
用したりすること。

○読み手の知識や経
験を具体的に想定
し、それに応じて書き
出しや構成を考えて
書く学習活動の充
実。

○話や文章に含まれて
いる情報と情報との
関係を捉えて理解し
たり、自分のもつ情
報と情報との関係を
明確にして話や文章
で表現したりする
学習活動の充実。

○漢字のもつ意味を考
えながら、文や文章
の中で正しい使い方
を習得できるように
する学習の充実。

【算数】

本校の概要	課題	改善の方向
算数 【領域】 □「数と計算」 □「図形」 □「測定」・「変化と関係」 □「データの活用」 すべての領域で全国平均を下回っている。	●数直線上で、1の目盛りに着目し、分数を単位分数の幾つ分として捉えること。 ●分数の加法について、共通する単位分数を見だし、加数と被加数が、共通する単位分数の幾つ分かを理解すること ●伴って変わる二つの数量の関係に着目し、問題を解決するために必要な数量を見だし、知りたい数量の大きさの求め方を式や言葉を用いて記述すること。 ●角の大きさについて理解すること。	○分数の意味理解をする学習活動の充実。 ○通分・約分、分数の計算の習熟 ○伴って変わる2つの数量やそれらの関係に着目し、変化や対応の特徴を見いだす学習活動の充実。 ○図形を構成する要素や図形間の関係などに着目し、図形の性質や図形の計量について考える学習活動の充実。

【理科】

本校の概要	課題	改善の方向
理科 【領域】 □「エネルギー」を柱とする領域 □「粒子」を柱とする領域 □「生命」を柱とする領域 □「地球」を柱とする領域 すべての領域で全国平均を下回っている。	●乾電池のつなぎ方について、直列つなぎに関する知識を身に付けること。 ●ヘチマの花のつくりや受粉についての知識が身に付けること。 ●水の結露について、温度によって水の状態が変化するという知識を基に、概念的に理解すること。 ●水が氷に変わる温度を根拠に、オホーツク海の氷の面積が減少した理由を予想し、表現すること。	○「電気とわたしたちの暮らし」の学習において電池のつなぎ方について再確認する。 ○「植物のからだおはたらき」、「生き物どうしのかかわり」で花のつくりや受粉について振り返る。 ○「地球に生きる」で水の三態変化について振り返る。 ○今まで学習してきた知識をもとに未来に生きて働く問題解決の力を育む学習活動の充実。